ぞうの赤ちゃんは、生まれたときは、とても小さなからだをしています。ながいはなや　大きな耳はありますが、おかあさんのような　りっぱなきばは　まだありません。

ぞうの赤ちゃんは、生まれるとすぐに　足をふんばって　立ち上がろうとします。三十分もすると、じぶんの足で立ち上がります。そして、おかあさんのおちちをすおうと　くびをのばします。

生まれて三か月くらいたつと、はなに　きんにくが　ついてきて、草をぬいたり　水をすいあげたりして　あそびます。ぬいた草を　口に入れてたべたり、すいあげた水を　口に入れて　ごくごくとのむことができるようになります。

上の文しょうをよんで、ぞうの赤ちゃんのようすをかきましょう。

生まれたばかりのようす

どのようにして大きくなるか